

平成27年度事業計画について
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1 事業推進方針

平成27年度は、公益財団法人に移行して3年目を迎えるが、県民の総合的な健康づくりを積極的に推進するため、健（検）診・検査、健康づくり支援事業、普及啓発等の各種事業のより一層の質の向上と充実に取組み、県民の疾病予防、健康の保持・増進に寄与する。

このため、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取組み、豊富な健診情報を元にした調査分析活動への積極的な取組み、より効果の高い啓発活動の展開等を推進する。

2 各事業概要

(1) 健（検）診・検査事業

① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、特定健康診査、各種がん検診、結核検診などの健（検）診・検査を実施する。

主な健（検）診・検査

(単位；件、%)

項 目	27年度 計画数 (A)	26年度 見込数 (B)	増減 A-B	25年度 実施数
特定健康診査	21,900	21,796	104	22,192
特定保健指導	480	441	39	466
胸部X線検診(結核検診等)	74,000	74,000	0	72,525
がん検診	110,710	112,234	△1,524	116,302
胃がん検診	22,100	22,145	△ 45	25,796
肺がん検診	36,500	35,953	547	34,498
肺がんCT検診	12,300	12,276	24	12,257
大腸がん検診	17,600	17,396	204	16,514
子宮頸がん検診	10,400	12,648	△2,248	14,826
乳がん検診	4,370	4,656	△ 286	5,372
前立腺がん検診	7,440	7,160	280	7,039
胃がんリスク検査	3,500	4,204	△ 704	0
腹部超音波検診	1,000	994	6	1,001
骨粗鬆症検診	820	982	△ 162	1,070
合 計	212,410	214,651	△2,241	213,556

② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、勤労者の健康増進に取り組む。

主な健（検）診の状況

(単位；件、%)

項 目	27年度 計画数 (A)	26年度 見込数 (B)	増減 A-B	25年度 実施数
特定健康診査	550	502	48	436
特定保健指導	320	322	△ 2	265
胸部 X 線検診 (結核検診等)	60,840	58,270	2,570	56,797
一般健康診断	59,400	56,315	3,085	53,607
特殊健康診断	3,400	3,417	△ 17	2,525
指導勧奨による健康診断	2,100	2,122	△ 22	2,223
がん検診	23,520	23,108	412	22,699
胃がん検診	9,800	9,708	92	9,700
肺がん検診	420	411	9	413
肺がん C T 検診	700	678	22	670
大腸がん検診	8,000	7,935	65	7,551
子宮頸がん検診	1,770	1,656	114	1,602
乳がん検診	1,200	1,132	68	1,067
前立腺がん検診	1,630	1,588	42	1,696
腹部超音波検診	900	855	45	828
骨粗鬆症検診	380	323	57	258
合 計	151,410	145,234	6,176	139,638

- ・一般健康診断（雇入時・定期・特殊業務従事者・深夜業従事者・給食従事者の検便）
- ・特殊健康診断（じん肺・石綿・有機溶剤・鉛・特定化学物質・電離放射線等）
- ・指導勧奨による特殊健康診断（VDT作業・振動業務）

③ 学校保健

学校保健安全法に基づく結核検診、尿検査、心臓検診に加え、小児生活習慣病予防検診、脊柱側彎症検診などの各種健（検）診・検査事業を実施し、児童、生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に資する。

(単位；件、%)

項 目	27年度 計画数 (A)	26年度 見込数 (B)	増減 A-B	25年度 実施数
結核検査	13,503	13,695	△ 192	13,915
寄生虫卵検査	31,138	33,221	△2,083	56,069
尿検査（腎臓病、糖尿病検査）	119,669	123,797	△4,128	125,039
心臓病検診	8,710	8,883	△ 173	9,500
脊柱側彎症検診	20,726	21,127	△ 401	21,192
学校貧血検査	20,288	21,761	△1,473	23,622
小児生活習慣病予防健診	2,962	2,837	125	2,881
合 計	216,996	225,321	△8,325	252,218

④ 母子保健

平成25年度より新生児マススクリーニング検査にタンデムマス法を導入し、新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療の一層の充実を図る。

(単位；件、%)

項目	27年度 計画数 (A)	26年度 見込数 (B)	増減 A-B	25年度 実施数
先天性代謝異常等検査	11,700	11,817	△ 117	12,095

⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックの充実を図る。

(単位；件、%)

項目	27年度 計画数 (A)	26年度 見込数 (B)	増減 A-B	25年度 実施数
人間ドック	1,150	1,102	48	989

⑥ クリニック（個人の健康診断）

就職や進学時に必要な診断書作成のため、健康診断を実施する。

- ・ 一般健康診断
- ・ 腸内細菌検査
- ・ 就職、進学時に必要な健康診断

(2) 精度管理の強化

① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度を維持・向上を目的とし、健（検）診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的に開催する。

各種専門委員会（9部門）
生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、
消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

② 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器検診学会、日本医師会、県医師会、日本対がん協会等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加する。

また、認定資格の取得や各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師認定」「検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師」「超音波検査士」「細胞検査士」「マス・スクリーニング認定技術者」などの認定資格等の取得を奨励する。

③ その他

- ・ X線撮影装置及び超音波画像のデジタル化
- ・ デジタル撮影装置を搭載した検診車の整備
(平成27年3月 宮崎県から検診車3台(胃がん、肺がん、乳がん)を無償貸与)

(3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県の健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要である。具体的には、循環器疾患、がん、糖尿病を中心とした疾患の予防を基に、地域、職域、学校をターゲットとした健康づくりの支援を展開する。(一部県委託事業)

① 健診データ解析情報及び健康情報の発信

協会が実施した健診データを解析し、得られた情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックし、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに各団体が取り組む健康づくりに関する施策を講演やセミナー等を通して支援していく。

支援方法	平成27年度計画	平成26年度見込	
講演会、講話、派遣指導	5,000人(180回)	4,600人(160回)	※
健康教室	400人(10回)	370人(7回)	
情報提供	16,000部(年4回)	16,000部(年4回)	
その他 (健康づくりセミナー)	県内3カ所 300人	県内3カ所 160人	

※ 実施者：医師(外部講師含む)・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内容：「メタボ健診(特定健診・職域健診)」について
「がん検診(肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん)」について
「小児関連健診(小児生活習慣病、貧血、腎臓、心臓検診)」について
「生活習慣病予防」について
「糖尿病予防」について

② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていく。また、保健指導実施者の育成のための研修会等を実施する。

内 容		平成27年度(計画)	平成26年度(見込)
特定	動機付け支援	450人	400人
	積極的支援	350人	300人
健診事後指導		250人	240人
指導者育成研修会等		800人(9回)	760人(9回)
内部勉強会の開催		180人(10回)	150人(10回)

③がん検診の事後管理

がん検診の要精密者について、精密検査の受診勧奨を市町村と連携し
行い、がんの早期発見・早期治療に努める。

また、生活習慣病検診管理協議会がん部会（県委託事業）に関する事業の取りまとめ
を行う。

＜参考＞平成25年度協会実施のがん検診の事後管理の状況（単位：人、％）

	肺がん	肺CT	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
検診受診者数 A	35,921	13,000	35,563	24,138	6,458	16,433
要精検者数 B	177	817	2,137	1,605	447	562
要精検率 B/A	0.5	6.3	6.0	6.6	6.9	3.4
精検受診者数 C	162	768	1,849	1,216	408	501
精検受診率 C/B	91.5	94.0	86.5	75.8	91.3	89.1
発見がん数 D	22	35	46	30	24	18
がん発見率 D/A	0.06	0.27	0.13	0.12	0.37	0.11

※平成27年3月6日現在の状況

（４）普及啓発等

県民が主体的に検診を受診し、生活習慣を改善するなどの積極的な行動を実践
するよう、県民に対する啓発活動に取り組む。

①インターネットや広報誌による広報・啓発

- ・協会ホームページの内容を充実し、幅広い層への広報を強化する。
- ・広報誌「サンテ宮崎」（年4回；各4千部）の内容を充実し、保健情報の提供に努める。（再掲）

②講演会の開催

- ・一般県民向けの健康講演会の開催
（著名人による講演、無料検診、健診車展示等 300名規模）
※日本対がん協会 巡回がんセミナーを本県で開催。
- ・市町村や職域の健康管理担当者向けの研修会の開催（再掲）
（県内3カ所：中央・県北・県南）

③各種イベントでの啓発

- ・市町村等の他団体が行うイベント事業と連携して、啓発ブースの設置や検診車の見学会等を行う。

④上部団体（（公財）結核予防会、（公財）日本対がん協会）と連携した広報啓発

- ・結核予防週間（9月下旬）及び複十字シール運動（8月～12月）
結核や胸部の疾患の予防、早期発見・早期治療を訴える街頭キャンペーン等を事業パートナーである宮崎県健康増進婦人の会と協力して、実施する。

また、キャンペーンと併せて、結核等の予防啓発事業等に活用するための複
十字シール募金活動を行う。

(募金目標額 2,300千円;平成26年度見込 2,200千円)

・がん征圧月間(9月)

県民向けの体験型の健康フェアの実施、マスメディアでの広報等

⑤ピンクリボン活動の展開

県や関係機関と連携のもと、乳がん撲滅運動であるピンクリボン活動を積極
的に展開し、乳がん検診の受診、早期発見、早期治療の必要性について普及啓
発を図る。

- ・ピンクリボン活動みやざき実行委員会の運営
- ・患者会(Newピンクリボンの会)の開催(月1回)
- ・街頭キャンペーン
- ・広報

スポーツイベント出展(ダンロップゴルフ、青島太平洋マラソン等)、
テレビ出演、バス車体広告、ピンクリボン支援自動販売機設置
チャリティイベントの開催(コンサート、ゴルフ等)

等